

複本除籍大作戦

【目的】 複本を減らし、読者の利便性を高めること。

① 複本比率と緊急度の調査	② 複本の選別	③ データ整備
④ 元の書架へ配架	⑤ 廃棄準備書架へ	⑥ 4類図書全移動作業

複本除籍大作戦

— 複本比率と緊急度の調査 —

複本比率と緊急度の調査結果を基に、複本の選別作業を行います。

① 複本比率と緊急度の調査
② 複本の選別
③ データ整備
④ 元の書架へ配架
⑤ 廃棄準備書架へ
⑥ 4類図書全移動作業

事件1 複本どっちが綺麗?

どうやって選別の?

事件2 書誌乱立事件

同じ本なのに生き別れ?

事件3 誤書誌事件

違う本なのに同じ書誌?

複本除籍大作戦

— 移動シミュレーション —

移動作業のシミュレーションを行い、作業の効率化を図ります。

① 複本比率と緊急度の調査
② 複本の選別
③ データ整備
④ 元の書架へ配架
⑤ 廃棄準備書架へ
⑥ 4類図書全移動作業

88

明治薬科大学図書館

複本除籍大作戦

～コンパクトで循環のよい図書館を目指して～



1998年、2つのキャンパスが統合された新図書館には
両図書館にあった同じ本が複本として所蔵された。
微妙に違う請求記号の複本なのに違う書誌...モヤモヤ
したまま過ごす中、書架整理のため棚下段の本を除いた
とき、書架からほみ出した本は長きにして実に
30メートルを越えた。

2018年、ついに
大規模除籍プロジェクトが
スタートした...

— 書庫はない、
でも！ピンチはチャンス。
今こそ複本を捨てて、ほみ出した本を戻すべし！

PLAN! RESEARCH! PREPARATION!

企画・調査・準備

- Q1. 除籍基準の整備
 - 「発行が10年以上前の複本は除籍」「年鑑は10年保存」とすること。委員会に諮り決定。
- Q2. 理想の収容率調査
 - 理想は70%
 - 資料室、年報情報センターの年鑑保存率の今後の整備のあり方について（中間報告）より
- Q3. 書誌の整備
 - 現在の所蔵・除籍情報をも、N.C.に安しく反映。
- Q4. スペース緊急度調査
 - 分類ごとの配架状況を調べ、緊急度の高い分類を除架対象に決定。

詳しくは本館HPへ

Do!

除架作業

作業は全員で、1日2サイクルを通常業務の合間に。1日140冊。実働40日間。

① 複本集め ② 保存/廃棄を選別 ③ データ整備 ④ 元の書架へ配架 ⑤ 廃棄準備書架へ

年鑑類の除架作業
委員会でも決定した保存年数10年以前の年鑑類を除架。その数なんと550冊。

事件発生

①どっちが綺麗!? ②同じ本なのに生き別れ!? ③違う本なのに同じ書誌!?

詳しくは本館HPへ

ACTION!

配架作業

4類図書 全移動作業

移動を最小限にするため、準備段階でまずは書架の長さを計算。複本・年鑑の除架も長さに換算しながら入念に移動計画を練り、オーバードロワーの収納と新刊のスペースを確保。

すべての本が戻ります!

詳しくは本館HPへ

今回のプロジェクトで除籍した複本は **3,025冊**。
3年かけて約1万冊の除籍を予定している!

書庫のない当館にとって、除籍は避けて通れない。
コンパクトで循環のよい図書館を目指し、今日も作業は続く。